

鉄道分野における新技術の活用に関する懇談会について

1. 懇談会設置の背景・目的

少子高齢化等に伴う労働力不足が増々深刻化するなど、今後の社会情勢の変化を踏まえ、IoTやビッグデータの活用など、技術革新による次世代の鉄道分野における将来像について、中長期的な観点での情報交換、意見交換等を行うことを目的として「鉄道分野における新技術の活用に関する懇談会」を設置する。

2. 懇談会の構成メンバー

- ・ 主要鉄道事業者（JR、大手民鉄、公営地下鉄）
- ・ 研究機関（鉄道総合技術研究所、自動車技術総合機構交通安全環境研究所）
- ・ 業界団体（日本民営鉄道協会、日本地下鉄協会）
- ・ 国土交通省鉄道局（事務局）

3. 想定される新技術分野

- (1) 運転・列車制御の効率化等のための新技術の活用
C B T C など無線を活用した列車制御 など
- (2) 車両・地上設備の省メンテナンスのための新技術の活用
老朽化する気動車の代替としての次世代車両、営業車両を活用したモニタリング技術 など
- (3) 省エネルギー・CO₂削減に向けた新技術の活用
水素燃料電池車 など
- (4) 輸送の安定性向上、輸送障害防止のための新技術の活用
カメラ・センサーを用いたホームからの転落防止検知システム など
- (5) A I、ビッグデータ等の活用

4. 懇談会の進め方

上記「3.」に掲げるような新技術分野の中から、懇談会参加者のニーズを踏まえてテーマを選定し、順次、情報提供者（発表者）を決めて情報提供・意見交換を行う。